

心がふと立ち止まる時があつてもいまはふりむかない。



永島敏行
斉藤とも子

吉田次昭
山岡健
佐久間宏則
田中エリ子

柏原真・沢井功
森谷幸章・平山敏明
紀島利治・石井茂樹
伊吹信一郎・みずのこうさく
宮子昌代・橋本美砂子
間宮奈緒美・大川幸二

川崎麻世
高原駿雄
永井秀明
桑山正一
伊吹徹

(友情出演)

江原真二郎
中原ひとみ
佐藤佑介
佐々美子
水野久美子
津島恵子

わが青春の イレブン

カラー作品 ビスタビジョン

監督・降旗康男

企画・家城久子 プロデューサー・飯江英樹・笠置正邦・堀内和夫
原作・いさきひさこ (K&R社) 脚本・家城巳代治・いさきひさこ
音楽プロデューサー・西崎義典
撮影・佐藤昌道 照明・平田光治 録音・小松忠之
製作・家城プロダクション 製作協力・東映和・東映オフィスアカデミー
後援・毎日新聞社・日本テレビ放送網・読売テレビ放送網・朝日放送



わが青春のイレブン

カラー作品
ビスタビジョン

スタッフ

企画 プロデューサー 家城久雄
三堀篤(東映)
原作 いえきひさこ(集英社刊)
脚本 家城巳代治
監督 降旗康男
音楽プロデューサー 西崎義展
製作 家城プロダクション
製作協力 東映株式会社
製作会社 オフィスアカデミー
配給 東映セントラルフィルム株式会社
後援 財団法人日本サッカー協会
撮影 佐藤昌道
照明 平田光治
録音 小松忠
編集 千蔵 豊
製作担当 森川富士夫
渉外宣伝 宮園富士夫
スチール 加藤光男
監督補 山野辺勝太郎
挿入歌 21(トゥエンティワン)
CBSソニー
作詞 小林和子
作曲 馬飼野康二
唄 川崎麻世

キャスト

矢吹健一 永島敏行
岡田豊 山岡健
谷川文夫 森谷泰章
津川太郎 柏原貴
沢村山 範島利浩
黒島村 沢井功
大友進 吉田大昭
久保光夫 石井茂樹
坂口理恵 田中エリ子
小島奈々 宮子昌代
大木守 佐藤佑介
森原博 依田徳智
橋場大川 幸二
成田上 伊吹幸雄
吉川端 高丘さとみ
校長 木村修
教務主任 桑山正一
サッカークラブ部長 川口玲雄
矢吹太 板倉加代子
矢吹俊二 佐藤宏之
赤川 守屋俊志
谷川 中里ひとみ
石川 津島恵子
黒住の母 伊藤慶子
スナックのママ 柳生尚美
大月の母 山本紗子
ウェイトレス 橋本美穂
非行グループA 新井政行
B 村岡光敏
C 村岡光敏
D 森下健司
二年A組男子 石井龍司
B 古谷俊幸
C 宮下良二
美川陽子 関宮奈緒美
沢なおみ 藤沢由香里
中野ビ子 上野めぐみ
前島朝子 岡田亜美
クラス部員 賀川ひろみ
中年の男 高月忠
看護婦 里見和香
一年B組 中野佳代子
サッカークラブ員 那智正彦
先 生 緒方克郎
七条敬三



佐藤佑介 江原真二郎



中原ひとみ



水野久美



津島恵子



川崎麻世



田中エリ子



佐久間宏則



山岡健



吉田大昭

■青春映画の原点、家城巳代治
終戦直後の混乱の中で、民主主義への道を歩む当時の若者達の心を感動的に、激しく揺さぶった映画があった。「雲流るる果てに」は、あまりにも見事に彼らの青春を描いていた。この映画史上に燦然と輝く名作のメガホンをとったのが家城巳代治であった。その後、「異母兄弟」「姉妹」などで独立プロ活動を経て、昭和33年に東映に移った。東映では、「裸の太陽」「秘密」「若者たちの夜と昼」などの青春をテーマとする佳作を撮り続け、その



影響を受けた映画人は多い。

昭和49年、「恋は緑の風の中」を最後の作品として、昭和51年2月22日、惜しくも胃ガンのために不帰の人となった。しかし、病魔と闘う中で、久子夫人の協力を得ながら遺稿となったシナリオ「わが青春のイレブン」を書き続け、病癒えて再びメガホンを手にすることを楽しみにしていたといわれる。没後、このシナリオは、久子未亡人の手で小説化され、集英社文庫に収められ、家城監督を偲ぶ多方面の人々の熱望の結晶として、この度映画化の運びとなった。

みどころ

■さわやかな出会い。敏行・とも子のフレッシュコンビ
ここ一年の間に、映画界は久しぶりに大型新人を誕生させた。「サード」の好演以後邦画各社の大作に顔を見せている永島敏行。「悪魔が来りて笛を吹く」で可憐な演技を見せて一躍アイドルスターとなった斉藤とも子である。この二人は、青年のみずみずしい感性を備えた実力派とみなされ、巨匠・名匠と呼ばれる演出家達の注目を浴びている。この二人が、猛烈なスケジュールの間を抜けて共演する青春映画が「わが青春のイレブン」である。アクション撮影中に一人の俳優が振ったパンチが永島の頬を直撃した。そのことを聞いたとも子は、撮影の予定もないのに駆けつけ、終始寄り添っていた。それから、とも子の手には次々に折られる千羽鶴の山があった。人には、入院中の友達にあげるのだからと持っているとも子の千羽鶴は誰の手に渡るのだろうか。

■期待のヤングスター達
この映画は青春映画にふさわしく、ヤングスターの出演も話題である。今やプロマイド売り上げNo.1の川崎麻世も過密スケジュールをぬっての出演。「サード」で永島と共演し、ナイーブな感性を注目された吉田大昭。「限りなく透明に近いブルー」で好演している佐久間宏則。「喧嘩道」で石井茂樹、みずのこうさく等々と次代をになうスター候補生のオンパレードである。

■家城巳代治の魅力、多彩な出演者
家城巳代治という名をつくづく偉大だと感じないわけにはいかない。この映画が製作されるとい

う記事が伝わるや往年のスター達の出演依頼が殺到した。しかし、青春映画という題材の制約から何人かに絞ってご出演をいただくことになった。丘さとみ(教師役)——14年ぶりの映画出演でかなり緊張。「裸の太陽」でお姫様スターを脱皮。家城巳代治には一人一倍思いつくがあるという。

中原ひとみ(谷川の母)——16年ぶりの出演。代表作「姉妹」で女優としての自信を確立し、この映画化前から楽しみにしていたという。

津島恵子(森の母)——「七人の侍」の可憐な村娘も、撮影の合間に丘さとみと談笑する姿は、よきPTAのママであった。

江原真二郎(矢吹の父)——舞台・TVに忙しいスケジュールをぬって出演。家城監督の腰の座った演出で演技開眼。演技力充分のバイプレイヤーとして地歩をきづいた。

水野久美(石川の母)——佐藤佑介(小島)——家城の遺作「恋は緑の風の中」で共演。絶妙な母と子の関係を演じた。

■異例中の異例、サッカー協会の全面協力
この映画は、高校サッカー部を舞台にしていることから、製作に当って、サッカー協会の協力を要請した。台本を読んだ日本サッカー協会の長沼健専務理事は、青春映画として素直に感動できるものとして、サッカー協会としては異例の全面的協力を言明した。

撮影に当っては、永島他出演者の特訓から、試合の相手校のメンバー、果ては観客に至るまでサッカー協会の指導をいただき迫力十分のサッカーシーンとなっている。

7月中旬愛と青春のロードショー
東京労音特別鑑賞券
¥880(当日大人1,300円(の処)学生1,100円)
好評発売中! 労音会員専用

TOEI CINEMA CIRCUIT 新劇場

伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F

新宿東映ホール (351) 3022

五反田駅西口黒川ぞい

五反田シネマ (491) 0810

時間/両館連日 11:35 1:30 3:25 5:20 7:15